

未来へ(東中だより)

第6号 令和3年7月1日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:89-2079

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

部活動で得るもの 選手激励会 6月28日(月)の話から

7月3日(土)から開催される、三養基・神埼地区中学校総合体育大会に挑む部活動の、選手激励会を行いました。各部活動代表の誓いの言葉では、「地区大会優勝」「県大会出場」「県1位」「一心」「恩返し」「私たちらしいチームワーク」「3年生にとって最後」「これまでの成果」「全員で協力」「保護者や先生への感謝」といった言葉が語られ、強い思いと豊かな感性に感じ入りました。そのことを伝えると共に、校長からの激励として、次のような話をしました。

「皆さんは、去年から新型コロナウイルスという目に見えない敵と、果敢に戦ってきました。昨年度の臨時休業や部活動休止のもとでは、多くの時間を自分で計画的に過ごし、いつ再開できるかわからない活動のために、自宅でのトレーニングに励んだ人も多くあったと思います。自分との闘いを経験した皆さんだからこそ、来る中総体の地区大会に臨む意気込みには、大きいものがあると想像します。

さて、2年前の時点で個人とリレーを含め16種目で日本記録を保持していた水泳選手、池江璃花子さんのことは、皆さんも知っていると思います。池江選手は白血病にかかり、10か月に及ぶ入院を余儀なくされました。本人を含め誰もが東京オリンピックでの華々しい活躍を期待していただけに、大変なショックだったと思います。

彼女のドキュメンタリーをテレビで見た人も多くいるでしょう。つらい抗がん剤治療を乗り越え、406日ぶりに彼女はプールに入りました。かつて肩・腕・背中・脇腹・脚に隆々としてあった筋肉はすっかり削げ落ちてしまっていました。しかし、プールで彼女はとても嬉しそうでした。そして、1年延期になったオリンピックに向けて練習を続け、彼女は驚異の復活を遂げました。

私たちは池江選手から、『どんなに困難なことがあってもあきらめないこと』の意味を学ぶことができます。『物事は、最後まで努力することに意味があり、結果は後からついて来るものだ』ということです。そして、結果のいかにかわからず、部活動を頑張ったからこそ得られる達成感、自信、友との絆、社会性の向上、体力の向上などが必ずあります。

来る大会においては、これまでの努力を誇りにして、『耐性』すなわち粘り強さとたくましさをもって、勝っておごらず負けて恥じることはない大会にしてきてください。健闘を祈ります。」

東中生みんなで頑張る
HGS!
H...表情豊かに よい挨拶!
G...学力高める 時間の管理!
S...精一杯の 自問清掃!



スケッチ会 (6月23日)



6月23日(水)は、中間テストの2日目でした。この日の2教科のテストを終えた後、3時間目から6時間目を使って、スケッチ会をしました。

生徒たちは一人一台の学習用タブレット型端末のカメラ機能で、事前にスケッチをする場所や構図を考えていたためか、スムーズな取りかかりができていたようです。途中で、ある生徒に「先生は美術の成績は何でしたか?」と尋ねられたので、「3でした。人それぞれ特徴があっていいんじゃない?」と答えました。すると、その生徒は、「そうですよね。」と明るく笑って筆を進めていました。

成長を見守る

生徒玄関前のピロティにツバメが上手に巣を作っています。見ていると、6月に入って、巣がからっぽになる状態がありました。ツバメのひなが、巣から飛び立っていたようです。校舎周辺で飛ぶ訓練やエサをとる練習をしているみたいです。



親鳥とおぼしきツバメは、時折なめらかな飛び方で範を示し、さりげなく我が子を見守っています。自然と豊かに共生できるこの学校環境が、有り難いものであると感じます。

巣のあるところには「糞害」もあるのが常ですが、ピロティの床にはフンがあまり見られないので、不思議に思っていました。そしてある朝、ほうきとちりとりを持って、2名の男子生徒が掃き掃除をしている姿を見かけました。嬉しいことでした。「感性」豊かな生徒が育っています。

地区中体連大会に向けて

今週末から始まる地区中学校総合体育大会(中体連大会)にむけて、各部活動では気持ちの入った練習が行われています。時折練習風景を見に行きますが、遠くからでも「こんにちは！」と挨拶が飛んできますので嬉しく思います。競技力も大切ですが、社会性ももっと大切だと思うからです。

さて、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症と熱中症の双方に留意しながら、大会が運営されます。その関係で保護者や地域の方々の参観が制限されますが、ご理解のほどをお願い致します。

競技及び会場の環境によって運営及び対策が異なりますので、ご注意ください。体調管理や検温等についても、よろしくお願い致します。

☆各競技の会場など☆

- ・軟式野球 7/3, 4, 10 三田川球場
- ・ソフトボール 7/3 千代田中
- ・ソフトテニス 7/3, 4 三田川中央公園テニスコート
- ・バレーボール男子 7/3, 4 東脊振中
- ・バレーボール女子 7/3, 4, 10 上峰中
- ・卓球男子 7/3, 4 上峰町体育センター
- ・卓球女子 7/3, 4 北茂安体育館
- ・剣道女子 7/3 脊振勤労者体育館
- ・剣道男子 7/4 脊振勤労者体育館

保護者の声

学年だより・学級だよりから

☆学年だよりや学級だよりに寄せられている、保護者の皆様の声を紹介します。☆

○課題テストが終わったら、もう中間テスト。いつも遅くまで勉強お疲れ様。私が中学生の頃は、こんなに勉強していなかったので、我が子ながら感心しています。この調子でがんばれ～。(1年)

○「コツコツが勝つコツ」子どもに向かって呪文のように言ってみます。道德の授業、楽しそうですね。いろんな意味で勉強になります。(1年)

○先生方に相談して、進路のこと、自分のやりたいこと、考えていってほしいです。親だけだとどうしても視野が狭くなってしまいます。よろしくお願いします。(2年)

ふるさと読本

☆先日、町内校長会で「ふるさと読本」のことが話題に上がりました。地域に誇りを持つためには、我が町を知ることが肝要だと考えます。そして、平成29年8月に刊行されたこの本が、優れた教材だということで、校内を探しました。一読したところ、確かに素晴らしい内容でしたので、地名についての記述の一部を紹介します。☆

「町名の吉野ヶ里の『ヶ里』は、奈良時代の終わりから平安時代に行われた日本最初の土地区画整理事業ともいえる条里制からきている。永田ヶ里・大塚ヶ里・寺ヶ里・夕ヶ里・瀬尾ヶ里も同様である。また、大曲・畑刈なども『ヶ里』が、後に転化したと考えられる。」

「昭和31年3月、三田川村と東脊振村が合併し、三田川と東脊振の頭文字を取って『^{みさき}三東町』とすることが両村議会で議決され、県に申請したが審議未了で実現しなかった。」

そういう歴史があったのだと初めて知ることがたくさんありました。また、紙面でとりあげたいと思っています。



